

## 知事と語ろう！とちぎ元気フォーラム in鹿沼東高 開催結果

1	日時	令和3(2021)年8月25日(水) 午後1時30分～3時00分
2	場所	オンライン開催 鹿沼東高等学校 2階進路学習室 県庁 特別会議室1
3	出席者	参加者 1～3年生50名(男子30名、女子20名) 県側出席者：知事、教育長、高校教育課長、政策調整監
4	発言数	11件



### 主な発言事項

No.	発言事項	関係部局
1	栃木県への移住・定住の促進について	総合政策部
2	栃木県の過疎化を防ぐ手段について	総合政策部
3	県内の大学進学先について	総合政策部 保健福祉部
4	人材育成プロジェクトについて	教育委員会
5	県立高校でのICT機器の活用について	教育委員会
6	コロナワクチン接種について	保健福祉部
7	新型コロナウイルスによる経営や雇用の支援等について	産業労働観光部
8	魅力度ランキングを上げるための発信について	総合政策部
9	栃木国体・とちぎ大会のアピールについて	国体・障害者スポーツ大会局
10	自転車専用道路の整備について	県土整備部
11	私たちが栃木県のためにできることについて	—

## 知事と語ろう！とちぎ元気フォーラム in鹿沼東高 発言及び回答要旨

区分	テーマ版	開催日	令和3(2021)年8月25日(水)
----	------	-----	--------------------

No.	発言事項	発言者	発言要旨	県回答要旨	関係課名(担当)
1	栃木県への移住・定住の促進について	高校1年	栃木県で生まれ育った若い世代の人たちに住み続けたいと思ってもらえるため、また県外で生まれ育った若い世代の人たちに移住したいと思ってもらえるため、どのような取り組みをされていますか。	<p>回答者：知事</p> <p>県では、若い世代が将来に夢や希望を持ち、安心してとちぎで暮らすことができるよう、子育て環境の整備や地域の活性化、安定した雇用につながる企業誘致等に市町と連携しながら取り組んでいる。</p> <p>また、県外の若い世代から本県が移住先として選ばれるよう、本県の魅力をデジタル広告やインスタグラムなどにより積極的に発信しているほか、本県出身者に対しては、将来的なUターンにもつながるよう、LINEによる地域情報の配信や県内企業への就職支援を行っている。</p> <p>さらに、高校生の皆さんに、地域での課題解決のための取り組みとして、例えば鹿沼学や木工学などの学びをとおして地元へ愛着を持ってもらい、進学等で県外に出た後もいずれ地域に戻って活躍してもらえるよう、市や町と協力して高校生の地域活動を支援していく「とちぎ高校生地域定着促進モデル事業」を15市町で実施している。鹿沼市で今年度から始まる活動には、鹿沼東高の先生がコーディネーターとして参画しているので、ぜひ皆さんの参加をお願いしたい。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、地方生活への関心も高まっており、県としては、こうした動きを的確にとらえ、若い世代の定住と移住を促進していく。皆さんには是非、未来のとちぎを支える人材になっていただきたい。</p>	<p>総合政策部 地域振興課 (地域振興・移住促進担当)</p> <p>Tel.2236 (地域づくり支援担当)</p> <p>Tel.2257</p>
2	栃木県の過疎化を防ぐ手段について	高校2年	栃木県の課題として過疎化が挙げられると思います。実際に、私が住んでいる粟野では、過疎化が進んでいるように感じます。この過疎化を改善するために、県ではどのようなことをされていますか。	<p>回答者：知事</p> <p>本県は、県土の半分以上を過疎地域等の条件不利地域が占めており、少子化、高齢化、地域の担い手不足、コミュニティの力の低下といった課題を抱えている。</p> <p>そのため、人を呼び込み、地域の活力を維持できるよう、地域の魅力や資源を活かした地域活性化の取り組みに対し支援を行うとともに、住民の方が将来にわたって住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、生活の中心となる小さな拠点形成等の支援に取り組んでいる。</p> <p>条件不利地域等は、山林や伝統文化等の地域資源の保全に重要な役割を果たしているため、今後も県として積極的に支援をしていく。高校生の皆さんには、幅広い視野や、課題解決能力を身につけ、本県の地域活性化を担う人材になっていただきたい。</p>	<p>総合政策部 地域振興課 (地域づくり支援担当)</p> <p>Tel.2257</p>

3	県内の大学進学先について	高校2年	<p>栃木県内には、国公立1校、私立9校の計10校の大学がありますが、国公立大学の数が少ないように感じます。選択肢の幅を広げる意味でも、県立大学の設立を検討してほしいです。また、県内の国公立には医学部がありませんので、ぜひお願いします。</p>	<p>回答者：知事 (県立大学の設立について) 令和2年度の学校基本調査によると、全国には795校の大学があり、そのうちの約3割が関東地方1都6県にあるなど、本県には県立大学はないものの、進学先の選択に恵まれた環境にあると言える。</p> <p>一方で、県内大学や短期大学への進学者割合は27.3%と3分の1に達しておらず、若い人たちの首都圏への人口流出が課題となっている。</p> <p>県では、高等専門学校等も加えた19の高等教育機関で構成する「大学コンソーシアムとちぎ」と連携しながら、教育・研究の充実・発展はもとより、地域社会の活性化や産学官連携の促進等に取り組んでいる。</p> <p>今後とも、県内高等教育機関と連携しながら、受験生から選ばれる大学となるよう、県内大学等の更なる魅力の向上に努めていく。</p> <p>(医学部創設について) 国においては、将来的に医学部定員を減員させるとの方向性が既に示されており、新たに医学部を設置することは困難となっている。</p> <p>一方、医師の地域偏在を解消するために、臨時的に医学部定員を増員し将来一定の地域で医療に従事することを条件として、一般枠とは別枠で医学部入学者を選抜する、いわゆる「地域枠」の設置が進められており、本県では、自治医科大学に3名、獨協医科大学に10名の栃木県地域枠を設けて、県内で医療に従事する医師の養成を図っている。</p> <p>今後とも、両大学と連携しながら、地域枠の設置を継続することにより、医学教育を受ける機会と地域医学の確保を図って参りたいと考えているので、両大学の地域枠を皆さんにはぜひ活用していただきたい。</p>	<p>総合政策部 総合政策課 (政策調整・地方分権担当) Tel.2209</p> <p>保健福祉部 医療政策課 (地域医療担当) Tel.3145</p>
4	人材育成プロジェクトについて	高校2年	<p>とちぎの未来を担う人材の育成プロジェクトについて、ふるさとを愛する心の育成とありますが、どのような方法で行っていくのですか。</p>	<p>回答者：知事 小・中学校では、とちぎふるさと学習のホームページや資料集等を作成して、ふるさとの自然、歴史、文化等についての理解を深める「とちぎふるさと学習」を推進している。</p> <p>高校では、多くの学校で地域と連携・協働しながら、ふるさとについて理解を深める学習や、地域の課題について考える学習を行っている。</p> <p>県観光物産協会の「おいでよとちぎ館」内に高校生とちマルシェを開設し、高校生が地域と連携して考案、開発した商品を販売するなどしており、宇都宮商業高校の宇都宮レモンーナツや矢板高校のりんごの入った黒カレー等の販売を行っている。私もどちらの商品も食べたことがあり美味しいと思ったが、このような地域と連携した各学校の取組を心強く思っている。</p> <p>児童生徒が地域社会に理解を深めて、地域の課題解決に向けた活動を行うことは、地域への愛着や地域の将来を担う当事者としての意識向上に繋がっていくことが期待されるため、学校と地域が連携した取組をととしてふるさととちぎへの愛着や誇りの醸成を図っていきたい。</p>	<p>教育委員会事務局 義務教育課 (指導担当) Tel.3392</p> <p>高校教育課 (指導担当) Tel.3383</p>

5	県立高校でのICT機器の活用について	高校1年	鹿沼東高には、タブレットの配置が十分ではありません。そこで、タブレットを全学年の全クラスに設置し、タブレットによる授業を本格的に行ったほうが良いのではないのでしょうか。	<p>回答者：知事</p> <p>本県では、小・中学校においてはすでに1人1台端末が整備されており、こうした教育環境を高等学校へとつないでいく必要がある。</p> <p>このため、今後はすべての県立高等学校に1人1台のタブレット端末を、なるべく早く整備できるよう努めていく。令和2年度までが3分の1、令和3年度中に3分の2を整備し、令和4年度には1人1台端末が整備されるスケジュールで整備を進める。</p> <p>これまで以上に「情報活用能力」が重要となっていくことから、高校生の皆さんには、こうした機器を積極的に活用して学んでいただきたい。</p>	<p>教育委員会事務局 総務課 (ICT教育推進担当) Tel3571</p>
6	コロナワクチン接種について	高校1年	現在、コロナワクチン接種が行われている中、栃木県の接種率が全国最下位というニュースを見ました。そのような中で、私たち高校生のワクチン接種はいつ頃になるのでしょうか。	<p>回答者：知事</p> <p>現在、本県の接種率は47都道府県のうち、下から2番目と残念ながら低位にあるが、県と市町の間で、意見交換や情報共有を図り、供給量を踏まえた接種計画の見直しを行っており、今後は接種スピードが加速していくと考えられる。</p> <p>既にほとんどの市町では、12歳以上の全ての接種対象者への接種券の発送が完了しているため、各市町のホームページを確認しながら予約手続きをしていただきたい。</p> <p>県においても、市町の接種体制を補完するために、とちぎ健康の森に県営の接種会場を設け、接種を実施しており、希望するすべての県民が11月末までにワクチンの接種を終えることができるよう、市町や関係機関と連携しながら取り組んで参りたい。</p>	<p>保健福祉部 感染症対策課 (ワクチン接種推進班) Tel3077</p>
7	新型コロナウイルスによる経営や雇用の支援等について	高校2年	コロナウイルスの影響により飲食店が営業困難であったり、給料が減額になったりしていると聞きました。コロナ前後で、経営支援や雇用に関する取り組み等、変化したことについて教えてください。	<p>回答者：知事</p> <p>県内の事業者に対しては、銀行などの金融機関等と連携した企業の営業に必要な資金の借入れ支援のほか、新商品の開発などの新たな事業に取り組むことによる経営革新、ICT等を活用した生産性向上の促進等により、企業あるいは事業所が持続的に発展できるよう支援してきた。</p> <p>しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、事業の継続や雇用の維持が困難となるなど大変厳しい経営状況にある事業所も多いことから、金融機関等と連携し、企業に貸し付けるために必要となる資金を新たに確保し県がその利子の支払いを一定期間負担するほか、営業時間短縮要請に協力いただいた飲食店等に対して協力金を支給するとともに、売上が減少した関連事業者に対しても支援金を支給するなど、事業継続に向けた支援に力を入れている。</p> <p>また、飲食スペースの個室化など施設改装や換気設備等の導入などの感染防止対策や、非接触型ビジネスへの転換への助成などにより、コロナ禍でも営業が続けられるように支援している。</p> <p>さらに、雇用については、国において従業員の休業手当などの一部を助成する雇用調整助成金を支給しているが、県においても、行政機関・経済団体・労働団体が連携した「とちぎ雇用維持確保・テレワーク等推進会議」を立ち上げ、テレワークを促進するための支援等を行っている。</p> <p>引き続き、国や市町等と連携を図りながら、感染状況や経済動向を的確に見極め、各種支援策を講じていく。</p>	<p>産業労働観光部 経営支援課 (中小・小規模企業支援室) Tel3172</p> <p>産業労働観光部 労働政策課 (雇用対策担当) Tel3224</p>

8	魅力度ランキングを上げるための発信について	高校2年	<p>昨年10月に発表された「都道府県魅力度ランキング2020」で、栃木県は日本全国で最下位となっていました。私は、栃木県にはたくさんの名所や名産があると思います。なぜ栃木県は魅力度が低いとされているのか、知事が思う原因とこれからの改善策について教えてください。</p>	<p>回答者：知事</p> <p>本県は、観光庁発表の令和元年度「宿泊旅行統計調査」では全国17位、一人あたりの県民所得は全国3位、高校生の献血率は断トツで5年連続日本一であるなど、魅力・実力を兼ね備えた県であることを確信している。</p> <p>順位が最下位になってしまった原因としては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための観光施設の営業自粛や各種イベントの開催自粛によって例年よりPRの機会が減少したことにより、観光地が多いが故に人が来ない、ニュースにもならないこと等が影響したのではないかと考えている。</p> <p>最下位になり逆に注目度が高まっている状況を好機ととらえ、「47（そこ）からはじまる栃木県」プロジェクトを立ち上げて、映画館でのCM放送やとちぎ未来大使を活用した動画の制作など、集中的な情報発信を実施した。</p> <p>また、本年2月に「栃木県ブランディング推進方針」を策定し、県産品販売、観光誘客、移住・定住の促進を重点3分野とし、新たな成果指標を定めたほか、インターネット時代に適した手法を積極的に取り入れて、リピーターとなって好意的な評価を広めてくれる栃木ファンの強化拡大を図ることとした。</p> <p>先日には、本県で鉄腕ダッシュの収録があり、最下位だった本県をPRしてくれる内容で竹工藝を取り上げてきている。放送される際にはぜひご覧いただきたい。</p> <p>県民の皆さんが本県への愛着や誇りをもって一人ひとりが栃木ファンになってもらい、良いところを広めていただく事が重要であるから、ふるさととちぎへの理解を深める学習機会の充実やSNSを活用した発信の場作りに取り組んで行く。</p> <p>10月中旬頃に発表となる今年のランキングも楽しみにしてもらいたい。</p>	<p>総合政策部 デジタル戦略課 (ブランディング推進室) Tel2825</p>
9	栃木国体・とちぎ大会のアピールについて	高校3年	<p>2022年のいちご一会とちぎ国体が来年開催されますが、栃木県はどのような取り組みをされていますか。いちご一会ダンスなどの取り組みの他に大会を盛り上げる活動や、来県した方々へのおもてなしや、栃木県をアピールする予定はありますか。</p>	<p>回答者：知事</p> <p>いよいよ令和4年には、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」が開催される。</p> <p>県民総参加による「いちご一会運動」を展開し、いちご一会ダンスキャラバン隊の派遣や、いちご一会ダンスコンテストの開催のほか、小・中学校の協力による花リレー栽培、手作り歓迎のぼり旗の制作・設置など、多くの県民の方々に支援・協力いただきながらいちご一会とちぎ国体・とちぎ大会を盛り上げるための活動を実施している。</p> <p>また、地域住民との協働による花育て隊活動や、おもてなしの担い手となるボランティアの養成研修など、来県者を心のこもった温かいおもてなしでお迎えするための準備を着実に実施している。</p> <p>そのほか、公式HPやツイッター、インスタグラムなどのSNSを活用した情報発信や県内映画館でのプロモーションムービー、駅のフロア広告や学校給食の牛乳パック広告など様々な取り組みを通してPRを実施してきた。</p> <p>県民のみなさんに、様々な形で関わり、参加していただき、来県された方々に栃木県での良い思い出を持ち帰っていただけるよう、大会と一緒に盛り上げていきたい。</p>	<p>国体・障害者スポーツ大会 局総務企画課 (広報担当) Tel3845 (県民運動担当) Tel3518</p>

10	自転車専用道路の整備について	高校2年	<p>私は、現在自転車通学をしています。登下校中、自転車専用道路が無いことで「危ないな」と思うことが多くあり、特に県道70号線は、危険に感じます。道路交通法に則ろうとすると、車道を走らないといけなくなり、車の迷惑にもなってしまいます。自転車専用道路の利点は多く、県民の自転車利用率の増加も望めるため、自転車専用道路の整備を進めていただきたいと考えます。</p>	<p>回答者：知事</p> <p>県では、令和2年3月に「栃木県自転車活用推進計画」を策定し、身近な移動手段である自転車の積極的な活用に向け、様々な取組を進めている。</p> <p>本計画や自転車通行空間に関する技術的基準に基づき、新たに道路整備を行う場合は、原則として、自動車、自転車、歩行者の通行を分離することとし、また現状で自転車通行空間が確保されていない箇所については、現在の幅員の中で自転車通行空間の確保を検討し、誰もが安全で快適に自転車が利用できるよう、地域の実情に応じて、自転車通行空間の整備を推進していく。</p> <p>県道70号（主要地方道宇都宮今市線）については、現在、宇都宮環状道路から大谷観音線までの区間において、道路拡幅や歩道設置などの整備を進めており、併せて自転車通行帯を確保していく。</p> <p>皆さんが、通学時に自転車を利用する際に、安全安心が確保できるよう、一気にはできないが、これからも積極的に自転車の走行区間の安全の保持に努めて参る。</p>	<p>県土整備部 道路整備課 (構造物担当) Tel.2414</p>
11	私たちが栃木県のためにできることについて	高校2年	<p>私たち高校生でも、栃木県のためにできることはありますか。</p>	<p>回答者：知事</p> <p>地域の過疎化を防ぐことや移住定住などについて皆さんと意見交換を行った。</p> <p>今度、鹿沼市と連携して鹿沼東高の先生がコーディネーターとして授業を組み立ててくれる事になっていますが、市や町と連携して地域について学ぶことに、多くの生徒の皆さんも参加してもらいたい。加えて、自分たちの地域や学校の周りには、祭りや地域全体で行う清掃活動や体育活動などの行事があり、学校全体として参加してもいい催し物もあるはずなので、積極的に参加して、地域の皆さんとの交流を深めたり、応援や手伝いをして欲しい。</p> <p>また、県内でいい所があったら皆さんが使っているSNSで積極的に情報発信をして欲しいし、環境美化活動でゴミを見つけたら拾うことも一人ひとりが実行して欲しい。</p> <p>部活動などで自らの健康づくりに努め健康で過ごすことも重要だし、さらには、部活で全国に出て行って今まで経験できなかったことを大いに経験して、それを地域活動にも活かしてもらいたいと思う。</p> <p>自分自身への限界に、学生時代に全ての人に挑戦してもらいたい。</p>	-

※関係課名（担当）欄のTEL番号は、栃木県庁028-623-各課共通（4ケタ番号）を記載しています。